

平均値、最頻値、中央値、
言葉は難しそうだけど、意味は簡単！

度数分布表のデータを「使い道」で分ける！

100cm～120cm未満	1人
120cm～140cm未満	3人
140cm～160cm未満	3人
160cm～180cm未満	4人
180cm～200cm未満	1人

合計 12人

まずはデータを使いやすいように
『階級値』で表してみよう！

確か階級の「ど真ん中」
の数字で書けばいいんだ
よね。



110cm	1人
130cm	3人
150cm	3人
170cm	4人
190cm	1人

合計 12人

この度数分布表で、次の値を求めよう！

- ① **最頻値**：最も度数が多い階級
→ 「4人」で一番多い『170cm』だね！
- ② **中央値**：分布表の「ど真ん中」の階級
→ 合計が12人だから、「ど真ん中」の6番目の
人がいる階級が中央値になる。
正解は『150cm』だね！
- ③ **平均値**：全員の合計数を出して、全体
の度数で割ったもの。

まずは合計数を出そう。

→ 110cm × 1人 = 110
130cm × 3人 = 390
150cm × 3人 = 450
170cm × 4人 = 680
190cm × 1人 = 190
合計は、1820。

そして全体の度数で割る

$$\rightarrow \frac{1820(\text{全員の合計数})}{12(\text{全体の度数})} = 151.6 //$$